

ニチアサ2012

ホミキ

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

全ては、あの時始まった研究所全てが亜空間に飛ばされた

全てはあの時始まった片方が月に置いてかれ片方が月から脱出した

☒? 「輝け！スマイルプリキュア！」

目次

ミッション1 特命戦隊青春満点キユア

ハッピー | 1

ミツシヨン1 特命戦隊青春満点キュアハッピー

ニツク「おいっ！ヒロム！起きてるか？起きてるだろ？さあ今日も一発元気よくおはよーってワオなんてこっタア朝からフリーズ状態か。」

ヒロム「カチカチ

ニツク「頼むよヒロム！ついにあれが来たんだ！」

高層ビル

黒木「特命近代地区Bの531ポイントにてエネトロン流失の疑いあり不正利用者であれば身柄を確保の上警察局へ連絡ただしバグラスであった場合即刻削除せよ。」

視点リユウジヨーク

ヨーク「シャキーン

リユウジ「カシャピッ

ヨーク「エネトロンの流出確認」

リユウジ「バグラス反応確認」

ヨーク「お菓子ムシヤムシヤ

リユウジ「行きますか。バスターズレディー？」

ヨーコ「ゴー！」

リュウジヨーコ「はあああああああああ!!？」

視点ニツク

ニツク「ヒロムほらおきつろて、ほらこれ見ろつて」

視点リュウジヨーコ

バンツバンツ

リュウジヨーコ「ダツ！カチカチ

it's morphing Time

リュウジヨーコ「レッツモーフイン！」

ブルーバスター「バグラスの皆さん抵抗は、ご自由に」

イエローバスター「どっちみちシャットダウンさせてもらうから」

バグラー「」

ブルーイエロー「はあ!!？」

視点ヒロム

カチツカチツプシュー

ヒロム「ゴーバスターズ」

ゴーバスターズop

ニツク「よつと」バイクモード

ニツク「go!!？」

視点リユウジヨロコ

ブルーバスター「デエヤア！」

イエローバスター「やああ！」

ブルーバスター「だああ!!？」スッパーン

イエローバスター「はあ！」ズッパーン！

視点ヒロム

ヒロム「」

視点リユウジヨロコ

ブルーイエロー「ハア！」

バグラー「っ！」

ブルーイエロー「」カチカチ

TRANSPORT

ウィーローン

it's time for buster

っドカーーン！

視点みゆき

みゆき「うわああああ!!?遅刻だああああ」

私星空みゆき 絵本大好きな中学二年生 今日が転校初日んだけどいきなり遅刻で大ピンチ! でも空はとってもいい天気だし!私は元氣出し!

みゆき「ウルトラハッピーなことがおこるかもおー!!?ドタバタ登校に曲がり角とつても素敵な予感!」

弦太郎「うわああああ!!?どいてくれええ!!?」

みゆき「わああああ!!?」

バタン!

みゆき・弦太郎「いつてて。あつ!」

みゆき「ごめんなさい!ぶつかってしまつて!」

弦太郎「いや!俺の方こそ悪りい!転校早々遅刻しそうで焦つてたぜ」

みゆき「遅刻?つてああああ!!?私遅刻してたんだつた!!?」

弦太郎「まじかよ!俺もそろそろいかねえーと!!?じゃあまたな!」

みゆき「はい!」

みゆき「うん!なかなか素敵な事が起こつたつてあれ?なにあれ?鳥?カラス?本?つてあれ?こつちに近づいてくる!」

キャンデイ「クル！」

バタン！

みゆき「いてて　？」

キャンデイ「クル？」

みゆき「可愛い！」ギュー

キャンデイ「クル！」

みゆき「貴方は犬さん？猫さん？狸さん？お名前は☒あ」

キャンデイ「名前はキャンデイクル！キャンデイは絵本の国メルヘンランドの妖精さんクル」

みゆき「きやあああああああああ！絵本好きな私にやってきた素敵な出会い！妖精さんだつて妖精さあああああん！」

キャンデイ「はっ！こうしちやいられない！クル！」

みゆき「つてかしやべつた！ねえ貴方私とお友達に　つてあれ？いない？キャンデイ？はっ！まさか夢？あつぷぷーつてあれ？」

キャンデイの絵本

みゆき「これつて夢じゃない!!？」

キーンコーンコーンコーン

みゆき「あっ！学校！」

みゆき「なんでだろう！これからとってもハッピーな事が起きる気がする！」

スマイルop

女生徒「堅吾先輩！これ読んで下さい！」

手紙

堅吾「時間の無駄だ」手紙川にポイ

弦太郎「おいっ」タツタツタ

弦太郎「捨てる奴があるか！」堅吾の胸ぐら掴む

弦太郎「人からもらった手紙はちゃんと読め！相手の思いはきちんと受け止めろ！断

るんだったら読んでから断れ！それが礼儀つてもんだ」ドーン

弦太郎「もつてろ」鞆渡す

弦太郎「オリヤアアアあ！いテエエ！」バシヤン！

堅吾「バカの極みだな」カチツカチツ

フォーゼop

ゆうき「どお？」

堅吾「ザフォーも活性化してるいよいよフォーゼの力を使うときが来るのか」

ゆうき「フォーゼ！あれはダメだよ！」

園田 「おはよう！」

生徒 「おつよう今日も可愛いねえー」

園田 「夏休み楽しかった？」

生徒達 「楽しかったです」

園田 「今日はこの2年B組に新しいクラスメイトが増えます」

生徒達 「おー」

弦太郎 「如月弦太郎

弦太郎 「如月弦太郎だ！俺の夢はこの学校全員と友達になる事だ！よろしくな！よろしくみんなよろしく！ん？ゆうき!!？」

ゆうき 「弦ちゃん！」

弦太郎 「久しぶりだな小学校以来か？」

ゆうき 「そうだね！小学校3年以來」

弦太郎 「おつ相変わらず夢は宇宙飛行士か！」

ゆうき 「うん！弦ちゃんは友達1000人で来た？」

弦太郎 「今じゃ1000人だ」

ゆうき 「うそ☒」

園田 「そろそろいいかな？如月君も席について」

弦太郎「あつちよつとまつて！」どん！

弦太郎「歌星堅吾さんお前宛だよな？」

堅吾「わざわざもつて来たのか？お節介だな」

弦太郎「ああお節介だ友達だからな」

堅吾「君と友人になつた覚えはないが？」

弦太郎「今からなるんだお前は気に食わねえ女の手紙を捨てるなんて許せねえだから
ダチになる」

堅吾「非論理的な発言だ」

弦太郎「いや筋は通つてるお前のような奴と友達になれなきゃこの学校全員の奴と
友達になるないからな」

堅吾「俺と君が友達になる確率はゼロだ」

弦太郎「おい！ちよつとまて！」

園田「歌星君！また勝手に」

堅吾「すいません保健室です」

弦太郎「だつたらなつてやろうじゃんか意地でもな」

みゆき視点

佐々木「それでは転校生を紹介しますさあ星空さん自己紹介をしてください」

みゆき「はっはい」

みゆき「なにこれ超緊張する！でも大丈夫挨拶の練習ちゃんとしたもん！あーやっぱ緊張する！頑張れ私！でもやつぱりムリーでもやんなきゃ！やんなきゃ！やんなきゃ！やんなきゃ！チーン

あかね「まだー？自己紹介？」

みゆき「あっはい！えとわ私星空みゆきですとととにかくよろしくお願いします！」

あかね「へ！それで終わり☒あかん才チないやんよし！代わりに私が自己紹介したる！んーそうやなく見た感じおっちょこちようやけどしっかりしてる」

みゆき「んえっ！」

あかね「んで星を見るのが大好きな弟がおって名前はそうやなく星空見太郎」

生徒達「あっははははははは」

あかね「あーうけたうけたほな次は」

なお「あかね」

あかね「？」

みゆき「？」

なお「星空さん困ってるでしょ？」

れいか「そうですよ挨拶は自分でしないと」

あかね「はいはいちようどええからあの二人を紹介するわ。あっちが緑川なおスポー
ツ万能でおまけに義理がたくって情にもろい女番長って感じやな」

なお「ばっ番長☒」

みゆき「ば番長?」

あかね「ほんでこつちのお嬢様が青木れいかクラス委員長で勉強もできておまけに男
子にモッテモッテ」

れいか「モテモテ☒」

みゆき「へえ〜」

あかね「ほんでうちは日野あかね去年大阪から引つ越して来たから転校生の気持ち
は、ようわかかんねん」

佐々木「はいそこまで日野さんありがとう席について」

あかね「えへへお後が嬉しいもんで」

みゆき「ははは」

やよい「気にしないでくださいね。あかねちゃんは星空さんの緊張をほぐそうとふざ
けただけだから」

あかね「その子は黄瀬やよい超泣き虫でちよつと突っ込んだだけですぐ泣いてまうね

ん」

やよい「変なこと言わないでよ。泣いたのは、たったの3巻だけだもん」

生徒達「あはは」

みゆき「みんなありがとう！改めまして星空みゆきです、皆さんのおかげで緊張が解きました私は絵本が大好きで小さい時からたくさん読んでます絵本のお話は必ずハッピーエンドになるのが素敵だなーって思ってた私もそんなハッピーを毎日探してます！」

あかね「それってどんなん？」

みゆき「？」

あかね「星空さんにとってねハッピーってどんなかなーて」

みゆき「えーと口では説明しにくいんですけどハッピーってこうなんかこの辺がキラキラして胸がワクワクしてとにかく！ウルトラハッピーって感じのことなんです！」

やよい「えへ」

あかね「なんかよーわからんけど」

れいか「なんだかわかります」

みゆき「そんなわけで、よろしくおねがいます！」

みゆき「うふふ」

佐々木「それじゃあ星空さんの席は」

あかね「はいはい私の後ろあいてまーす」

佐々木「そうですね星空の席はそこです」

みゆき「はい！日野さんよろしくね」

あかね色こつちこそよろしくな」

佐々木「それではホームルームを始めます」

みゆき「はあー緊張した〜挨拶頑張れて良かった」

みゆき「！」

ピヨーンピヨーン

キャンディ「早くプリキュアを見つけるクル」

みゆき「キャンディ！」

あかね「？」

みゆき「キャンディだよほら！あれ？」

あかね「なんもおらんで？」

佐々木「星空さん？」

みゆき「うげ！」

佐々木「締め切りも迫っているので早く決めましょうやりたい人ー」

リュウジヨーコ視点

イエローバスター「」スチャ

ブルーバスター「さてお前もいい加減正体表したら？」

エンター「」ピク

ブルーイエロー「!!？」

エンター「」ギューーン

ブルーイエロー「！」ヒョイ

エンター「」ピロピロピロピロ

エンター「サバア ゴーバスターズ」

イエローバスター「鯖？人を魚みたいに！」

ブルーバスター「ヨーコちゃん今の調子どう？ってフランス語」

イエローバスター「え？え？知ってたし！」

エンター「私はエンターお見知り置きを。貴方がたが勝手にバグラスと呼んでいる
達のこれから始まる本番をプロデュースさせていただきます」

イエローバスター「本番？」

エンター「やあ!!？」ギューーン！

ブルーバスター「！」バンツバンツ

ブルーバスター「ハア逃げられた」

黒木視点

黒木「森下これまでバグラスに奪われたエネトロンの総量は？」

森下「推定で60万トン突進エネルギーの役1年分ですね」

黒木「本番か ついに始まるということか」

ゴリサキ「神様リュウジを守ってくださいってどうもありがとうございます」

ウサダ「へえー神頼みするほど頼りないんだねその分うちのヨーコは心配なしーウサダとしては余裕すいすい」

仲村「すいません失礼します」

ウサダ「はあく❑失礼なことは最初からやめてください」

黒木「来るゴースターズが二人では持たない時が」

園田視点

園田「ほんと勝手な生徒ばかり」

大杉「まあそれが校風ですからねそれより園田先生見ましたかこの掲示板❑」

園田「天ノ川高校は悪魔の巣だぶっ壊してやる？」

大杉「本当ふざけてる」

園田「最近妙なことが増えてきてませんか？この学校」

大杉「いやっご心配なく園田先生はこの大杉忠太がお守りしますから」スッテーン

パチン

みゆき視点

あかね「？もう帰るん？なんやったら学校の中案内しようか？」

みゆき「ありがとう！でも日野さん部活でしょう？私は一人で大丈夫」

あかね「そつかほなまた明日なバイバーイ」

みゆき「キャンデイ夢じやなかつたはつもしかしたら学校のどこかにいるかも！おつしやあ！こうなつたら学校の中を探検ダア〜！」

ガラガラ

みゆき「へエ〜広い音楽室」

ガラガラ

みゆき「ここが理科室」

ガラガラ

みゆき「ここが図書室か。誰もいない図書室ってなんか不思議あれ？」

光る本

みゆき「なに？なんだろう？この光本棚の奥から？」

カチ

みゆき「あれ？」

カチ

みゆき「またよーし！えい！」

カチ

本が光る

みゆき「なにになに！なんなの☒本が光ってあれ☒本に吸い込まれる

ウアアアアアアアア!!？」

ヒロム視点

ニツク「ヒロムこの素晴らしい景色ともしばらくお別れだなくても本当にいいの？リ

カさん悲しむぞ」

ヒロム「ニツクが心配しなくていい姉さんにはちゃんと話す」

ニツク「柔らかくだぞお前はなんでもストレートに言いすぎるから」

ヒロム「普通に話してるだけだ」ブーン

ニツク「その普通がおっと！病院は次左なおい！左って言ったろ！なんで右に曲がる

んだ！」

ヒロム「お前がバディロイドの癖に方向音痴だから」

ニツク「むむストレートな指摘をサンキュー」

ブーン

弦太郎視点

ガチャ

弦太郎「歌星いるか？いねえか」

食堂

弦太郎「ここにもいねえか。よつよつ鍛えてるね〜水球頑張つて！よいしょ」

生徒「おいおい座つちまつたぞ！」

弦太郎「なんだよ！俺の顔に何か付いてんか☒」

JK「おいwどこ座つてんだ転校生w」

弦太郎「なんだと！」

JK「なんなのあいつちよーうけんだけどwとい会えずwチユーすW」

女生徒「W w w w w」

ユウキ「弦ちゃん弦ちゃん！」

弦太郎「よう」

ユウキ「やばいよ早くそこどいて！」

弦太郎「なんで？」

ユウキ「あのねグループによって座る席が決まってるの！ほら見てあつちは不良」

不良「ドンッ！」

ユウキ「こっちはガリ勉」

ガリ勉「スチャ」

ユウキ「こっちは遊び人」

遊び人「ウエエエイ!!？」

ユウキ「あつちはオタク」

オタク「」

ユウキ「あれは筋肉」

筋肉「ウオオオ」

弦太郎「馬鹿じゃねえのお前！そんなのきいたことねえよ」

ユウキ「でもそれはこの学校のルールだから」

JK「そうそうそれにギークがこんなところにいたらまずいでしょw」

弦太郎「ギーク？」

ユウキ「オタクって意味あー私のことね ねえいこ！早く行かないと大変なことになる！」

ガチャスタスタ

弦太郎「なんだあいつスッゲー美人だこの学校も捨てたもんじゃねえーな」

ユウキ「風城先輩この学校のクイーンだからほらいこいこいこ」

美羽「トラツシユとギークがなんでこの席にいるのかしら？」

ユウキ「ごめんなさい！」

弦太郎「トラツシユ？」

美羽「そう！トラツシユの中のトラツシユ」

弦太郎「それは男の中の男そういうことか？」キリッ

美羽「ウツプス？」

女生徒「プッ w」

ガシ

弦太郎「？うあああああ」

ガツシヤーン！

ユウキ「弦ちゃん！大丈夫？」

美羽「ありがとう隼でも少しホコリが立った」

隼「これは失礼した美羽気をつけよう」

弦太郎「いきなり人ぶん投げるとかなん考えてんだこのやろう！！？」

隼「騒ぐなゴミをゴミ箱に入れただけだ」

弦太郎「ゴミだと？冗談じゃねえ！俺様はトラツシユだ！！？」

ユウキ「馬鹿！ゴミって意味よ！トラツシユはゴミ！」

弦太郎「何！馬鹿にしゃがって！俺はゴミじゃねえ！如月弦太郎だ！」

隼「黙れトラッシュの名前など聞く気は無い」パチン

隼「やれ」

生徒達「」ぞろぞろ

弦太郎「へっ！力ずくは嫌いじゃねえ！」

取り巻きa「おらっ！」

弦太郎「はっ」ヒュン

弦太郎「おら！」ドンツ！

取り巻きa「うわあ」

弦太郎「おらよっと！」バキツ

取り巻きb c「ウワアあああああ！！？」

取り巻きa「おらおらおら！！？」ブンツ

弦太郎「ほっ！」ヒュン

取り巻きa「ウワアあああああ！！？」

JK「やるッ w」

ユウキ「キャ！話して！！？」

弦太郎「ユウキ！テメエ！」

隼 「お前が大人しくするのなら彼女をどうこうする気は無い」

弦太郎 「卑怯な野郎だな！」

三浦 「大文字さんになんて口聞くんのだ！」

弦太郎 「大文字？」

隼 「アメフト部部長の大文字隼だ こい！ここではレディの食事の邪魔になる」

グラウンド

隼 「お前が一切抵抗しなかったらこいつを解放してやろう」

弦太郎 「いいだろう！」

隼 「うりやあああああ」

弦太郎 「かはっ!!？」

隼 「ふッ w」

弦太郎 「どうした？そんなもんか☒」

隼 「何？」

弦太郎 「気にすんなユウキ！友達だからな」

隼 「だったら徹底的にやれさせてもらおう三浦そこらを見張ってる」

三浦 「はい！」

隼 「リヤあああああ!!？」

ドン!!?

弦太郎 「ウワアああああ!!?」 バタン

取り巻き達 「おらっ立て!!?」

弦太郎 「?なんだあれ?星?

オリオンゾディアーツ 「ウオオオオ!!?」

弦太郎 「なんだあれ!バケモン!

隼 「行くぞ!!?」

取り巻き達 「はい!

弦太郎 「ユウキ!!?」

ドツカーン

弦太郎 「あれもアメフト部!な訳ねえーよな!

ユウキ 「あっあれは、

弦太郎 「まあよくワカンねえけど下がってるすぐに追い払ってヤラア!

鉄パイプ

弦太郎 「先手必勝だこの野郎!!?」

オリオンゾディアーツ 「ふん!」 折れた鉄パイプ

弦太郎 「ええええ!!?ウワアああああ」

ドン

ユウキ「弦ちゃん！」

オリオンゾディアーツ「ギユイーン

ユウキ「キャ」

バン

ユウキ「あれ☒」

パワーダイザー

堅吾「大丈夫かユウキ？」

ユウキ「うん！見て体にオリオン座ゾディアーツよ！」

堅吾「みただな 下がってる!!？」ギユイーン

ドンドンドンバキ!!？」

オリオンゾディアーツ「うっ!!？」

堅吾「ハアハア」

ユウキ「堅吾君？」

倉庫

堅吾「まだ倒しちゃいないパワーダイザーじゃその場しのぎだ」

ラビットハッチ

堅吾「ハアハア」

ユウキ「まって！フォーゼはダメよ！」

堅吾「ゾディアーツを倒すにはこれしか無い！」

ユウキ「ダイザーの操縦でさえバテバテだったじゃ無い！」

ロケツト ランチャー ドリル レーダー

堅吾「俺がやるしかないんだ」

ユウキ「まって！」

堅吾「どいてくれ！時間の無駄だ」

弦太郎「ウワアああああ」ふわふわ

ユウキ「弦ちゃん！」

弦太郎「なんだここ？異様にふわふわすんな！」

堅吾「ガチャ

重力コントロール

弦太郎「うわっ なんか秘密基地みたいでかつこいいな」

堅吾「あとをつけたのか？」

弦太郎「まさかあのドリルはお前が操縦してたとな」

堅吾「そこまで見てたのか？」

弦太郎 「よこせ！」

フオーゼドライバー

堅吾 「貴様!!？」

弦太郎 「ヒョイ

弦太郎 「話はきいた。これならあのバケモンが倒せんだな？」

キャンディ視点「プリキュア〜どこクルー！ひゃあ！」

ウルフルン 「ウルフツフツフ」

キャンディ 「狼が来たクル〜！」

みゆき視点

みゆき 「うわぁ痛いよ〜!!？」

みゆき 「あれ？ここどこ？綺麗〜あつあれまさか」タツタツタ

みゆき 「やっぱりそうだ！周りの壁全てに絵本が並んでるんだ！あれ？これってさつ

きの本と同じ」

みゆき 「ひつままた光った！」

キャンディ 「クルー!!？」

みゆき 「キャンディ☒」

キャンディ 「プリキュアはどこクル〜！」

みゆき「なにこれ！本の向こうにキャンデイが ムー！みーえーなーい！！？ちよつとこれどうなってるの？キャンデイが見えないよ！」

カチカチ

みゆき「もう！あれ？また本が光って う ウワアああああ！！？」

みゆき「あれ？ここって商店街の本屋さん！どうなってるの？そうだキャンデイ！！？」

エンター視点

カチっカチウィーン

エンター「アローアローアロー我がメジユステイメサイヤ」

メサイヤ「エンターここは息苦しい」

エンター「マジステイ。もうすぐです。13年もの暗闇が終わります 次に苦しむのは、人間です」

メサイヤ「人間？そう人間だ！！？」

エンター「ウィーウィーウィーマジステイ全てお任せを」カチシユウィーン

エンター「メタウイルスマシンインストール」

シヨベルロイドシヨベルロイド

エンター「さあ！フェスタの始まりです」

シヨベルバグラス「ぬっ！」

黒木視点

仲村「仲村ミホです本日付を持って特命部のオペレーターを任命されました訓練センターでの成績は」

サイレンビービー

森下「司令官、宮脇地区にエネトロン異常消費反応です！もしかしたらメタロイド」

ウサダ「来たぞ」

黒木「ついに来たか。仲村悪いがすぐに実践だウサダサポートしてやれ」

ウサダ「えー！」

ドン

ウサダ「いてっ！」

ヨーコ「ウサダ！文句言わずにやる！」

ウサダ「はいラジャラビート」

ゴリサキ「リュウジ！ついに来た始めてあれが！メメメメメタロイド」

リュウジ「落ち着けこの時のために訓練して来たんでしようが」

黒木「リュウジヨーコバグラスの進行を絶対に許すな出動だ」

リュウジヨーコ「了解!!？」

森下「シューター使ってください」

ウサダ「頑張れ」

仲村「あんな若い女の子が戦うんですか☒」

ウサダ「宇佐見ヨロコは特別もろんりユウジも13年前ある力を受けてからウサダ達バディーロイドと一緒に備えて来た」

シヨベルバグラス「ウリヤア!!?’」ドカン

一般市民「きやあああああああああ!」

森下「シューターハッチa2じょうオーブン」

ウサダ「特命戦隊ゴーバスターズとして戦うために」

リユウジ視点

カチカチ

it's morphing Time

リユウジヨロコ「レッツモーフイン」

シヨベルバグラス「☒お前達はゴーバスターズか?」

イエローバスター「お前がメタロイドか」

ブルーバスター「よろしく!とわ言いづらいな」

T A A N S P O R T

シヨベルバグラス「くらえ！」ダツダツダツ!!?」

ブルーバスター「おっと!ふ!」バンバン

イエローバスター「はっ!!?」スパーン

ウサダ「敵はバグラスそしてあれはバグラスが物体にインストールして作るメタロイド」

仲村視点

ウサダ「でも仲村の仕事はそっちじゃない亜空間のモニター技術を訓練されたはずだよね? やつてすぐに」

仲村「はい」カチカチ

仲村「へ? 亜空間から何か転送されて来ます!」

ウサダ「なっ! 転送完了時間は?」

仲村「まってください! 今から3分30秒後です」

ウサダ「こちら指令室亜空間からの転送時間を特定したよ時間はブレスを見て」

ヨーコ視点

イエローバスター「え? 嘘訓練より全然早い!」

ブルーバスター「これが実践てやつだようおっ!!?」

ダダダ!!?

「シヨベルバグラス「はっはっはっはどうした！モタモタしてるとお前らも穴だらけだ！」」

ゴリサキ視点

ゴリサキ「あくダメだやつぱりメタロイドは強い」

ウサダ「うるさいよ！ゴリサキ！」

森下「司令官もう一人のゴーパーバスターズはまだ」

仲村「もう一人？もう一人いるんですか」

ウサダ「いるヨーコ達と同じ特別な子があと一人でも」

回想

リカ「嫌です!!？ヒロムには絶対そんなことは、させません!!？」

ヨーコ視点

イエローバスター「はっ!!？」

ブルーバスター「やあ!!？」

シヨベルバグラス「ふっタア」ダダダダダ!!？」

ブルーバスター「こんな時は最後の一人が登場つてのがお約束だけど」

イエローバスター「無理！お姉ちゃんが大事大事で手放してくれないんでしょ？そんな

なシスコン来ても邪魔!!？」

リカ視点

リカ「本当心配かけてごめんねただの疲れだって、明後日には帰っていいって先生が……何？」

ヒロム「姉さん俺行くよ！」

リカ「いくつてまさかヒロム！」

ニツク「ヒロム……！戦いが始まった！」

リカ「ニツク！貴方が唆したのねヒロムに戦えなんて！ヒロムがどんなに危険な目にあうのか分かってるの☒」

ニツク「いやっ」

ヒロム「姉さん 俺は決めてたんだ 13年前のあの時から」

リカ「ヒロム」

ヒロム「逃げるわけにはいかない俺たちが戦わなきゃまた悲劇が起きる俺たちの父さんや母さんみたいに」

モーフィンブレス

ヒロム「姉さん 13年間守ってくれてありがとう俺は戦って勝ってまた戻ってくるよ」

リカ「ヒロム！」

ヒロム「急ぐぞ！ニツク」

ニツク「ok一発戦って一発勝って一発戻ってくるか！」

ヨーコ視点

仲村「転送完了まであと10秒」

10

9

8

7

6

5

4

3

2

1

仲村「転送完了きますす！」

メガゾード「」

イエローバスター「何あれでかい!!？」

黒木視点

森下「敵メガゾードエネトロンタンクに向かってます！」

仲村「どうしてタンクに☒」

ウサダ「バグラスのボスメサイヤは亜空間からこの世界に来ようとしてるんだだけど
それには大量のエネトロンがいるんだ」

森下「敵メガゾードタンクに到達！タンク側からバスターズ出動信号です！」

ウサダ「無理だよ！今はいけない！」

ゴリサキ「もうダメだ」

ヒロム「こちら桜田ヒロム指令室聞こえますか？」

黒木「ヒロム来たか」

ニツク「期待の星ニツクもお忘れなく」

ヒロム「状況は分かっています01を出してください！」

ゴリサキ「えー！訓練もしてないのに☒」

ニツク「俺がシミュレーションさせてないとも思ったか？」

ヒロム「大丈夫です！けます！」

ウサダ「うわっ！自身満々」

黒木「よしっバスタービークルBB01緊急発信準備」

一同「了解」

仲村「バスタービークルBB01緊急発信準備完了」

黒木「バスタービークルBB01発信」

森下「全然改良問題なし」

仲村「エネترونグリーン」

ヨロコ視点

イエローバスター「エネترونが」

シヨベルバグラス「はっはっはっ！根こそぎ奪い取れ！」

ブーン

シヨベルバグラス「うわっ！」

ヒロム「あとは任せます」

ニツク「あのでっかいのは俺たちに任せろ！」

ブーン

ブルーバスター「あいつら」

イエローバスター「まさか来たの？」

ヒロム視点

カチカチ

it's morphing Time

ヒロム「レッツモーフイン！」

森下「レッドバスター乗車確認バディロイド接続確認」

カチカチ

let's ride

ニツク「ヒロム！訓練どうりターゲットの補足は俺に任せろ！お前は戦いに集中しろ！」

レッドバスター「わかつてる」

ドンドン

レッドバスター「ビルが！」ダツ!!？

ニツク「ヒュー危なかったな」

ウサダ「やるじゃん」

it's Time for bastard

レッドバスター「ハアアア」

シュドーン

ニツク「最高だヒロムこれなら戦える！間違えない！」

レッドバスター「まだ喜ぶのには早い。あのメタロイドが残ってるってなんだ!!？あ

の宙に浮いてる狼！」

弦太郎視点

堅吾「返せ！それは俺のうっ！」キーン

ユウキ「堅吾君」

弦太郎「今のお前じゃ無理だ」

堅吾「だが君にも無理だ」

弦太郎「やってみなくちゃワカンねえだろ？」

堅吾「ふざけるな」

弦太郎「ここは俺に任せろ」

堅吾「おいまてっ！」キーン

堅吾「なんで俺はこんな体に生まれた!!？」ドン！

大杉視点

大杉「コラコラ廊下走るんじゃないよ」

園田「どうしたんですか！」

大杉「あつ園田先生」

オリオンゾディアーツ「ウワアあああああ」

大杉「何あれバケモンだあああああ」

園田 「きやあ！」

弦太郎 「ヨッシーシこれでお前を倒してやる！つてあれこれの使い方ワカンねえ！」

ユウキ 「はいはいはい腰に巻きつけて」

弦太郎 「へ？」

ユウキ 「こう！」

シューイン

弦太郎 「おお！」

ユウキ 「そしたらスイッチ入れて！」

弦太郎 「スイッチ☒」

ユウキ 「そう！それが貴方に宇宙のパワーをくれる」

弦太郎 「宇宙のパワー？」

ユウキ 「そう！」

カチカチカチカチ

ユウキ 「」ダッ

弦太郎 「おい！なんで逃げんだよ！」

3
2
1

ユウキ 「いいから早く変身つて言ってレバーを引いて手を上に上げて！早く！」

弦太郎「えーと変身!!? って言ってレバーを引いて手を上に上げる!!?」

フオーゼ「なんだかワカンねえけど宇宙キターーー!!?」

ユウキ「そう!それがフオーゼよ!早く怪物を」

フオーゼ「これがフオーゼかわかった!!?おりや!」ドン

フオーゼ「しやあ!おりや!」ドン

オリオンゾディアーツ「ふん!」ドン!

フオーゼ「うを!」

フオーゼ「オーリヤおらおらおら!!?」ドンドン!

フオーゼ「おうりやあ!!?」

ユウキ「校舎の中は危ないからロケットスイッチ押して!」

フオーゼ「これか?」

ロケットオン

フオーゼ「ウワアああああ!!?」

ユウキ「すつごー!!?」

フオーゼ「おっと目が回った!」

フオーゼ「あつ気持ちわり!おらっ!」ドン

フオーゼ「ほかになんかねえのか」

カチ

ランチャーオン

ドカンドカ

フォーゼ「あつやべ違うところ打っちゃった」チリンチリン

フォーゼ「なんだ？」

カチ

レーザーオン

堅吾「お前学校破壊する気か？」

フォーゼ「歌星か？」

堅吾「今は戦いに集中しろ左手についてるレーザーでターゲットを細くしろ」

フォーゼ「わかった！こうか」

フォーゼ「ロツクオン！くらえー！」ドン！ドン！ドン！

オリオンゾディアーツ「ウオオオオオ!!？」

堅吾「よし！接近戦だ右足のスイッチを交換しろ！」

フォーゼ「ok右足な」

チエンソー

カチ

チエンソーオン

フオーゼ「うお！カッコいいじゃん行くぜ！」

フオーゼ「おっ何度も同じではくろうか！」

カチ

ロケットオン

フオーゼ「ウオ!!？高い高いこっちは？」

カチ

ドリルオン

フオーゼ「よしトドメだ！」

堅吾「ちよつとまで如月！」

フオーゼ「ウツセエ」

レーダーオフ

ロケットドリルリミットブレイク

フオーゼ「くらえロケットドリルキックウウウ!!？」

オリオンゾディアーツ「うああああ」ドカーン!!？」

フオーゼ「よっしゃあ」

ユウキ「やったね弦ちゃん！」

フオーゼ「ぎつとこんなもんよ！」

堅吾「如月!!？」

フオーゼ「おつよー堅吾!!？」

堅吾「名前で呼ぶな！」

ユウキ「ちよつと待って何あの狼!!？」

フオーゼ「狼あれもあの化け物なのか？」

堅吾「いや、あんなやつ知らない！」

みゆき視点

みゆき「そうだキャンデイ！こっちなかな？あつみーつけた!!？」

キャンデイ「狼が狼がクル！クルーーーーーー！クル？」

みゆき「キャンデイ！」

キャンデイ「クウルウ!!？」

みゆき「ちよつと待ってよ」

キャンデイ「空から狼が来たクル!!？」

みゆき「そんなのいるわけって本当に何かいるし!!？」

ウルフルン「ウルッフッフ早速この街からおっばじめてやる」

ウルフルン「世界よ！最悪の結末バッドエンドに染まれ」ブシユ!!？」

ウルフルン「白紙の未来を黒く塗りつぶすのだ」ベチャ
みゆき「何？」

キャンディ「ウルフルンが世界をバッドエンドにしようとしてるクル」
ヒロム視点

レッドバスター「やっぱり戦いたくない」

ニツク「どうしたんだヒロム!!？」

ブルーバスター「どうせ勝てない」

イエローバスター「もうだまだ」

黒木視点

ウサダ「ヨーコが戦意喪失してる何で!!？さっきまでうまく言ってたのに」

黒木「ヨーコだけじゃないリユウジもだ!!？」

森下「司令官何が起こってるのですか☒」

黒木「わからないあの狼が何かした時にヒロム達の様子が変わった」

シヨベルバグラス「なんだ急に静かになったな今のうちにやるか！」

ウサダ「やばいよ！このままじゃヨーコ達が危ないよ！」

弦太郎視点

ユウキ「宇宙飛行士になんかなれるわけがない」

フオーゼ「ユウキ☒どうしたんだ堅吾何が起こってる☒」

堅吾「おそらくあの狼の仕業だろう」

フオーゼ「じゃあなんで俺は!!?」

堅吾「フオーゼは全身がコズミックエナジーで覆われている！ユウキがそうだったのあの狼のエネルギーの仕業だ。コズミックエナジーで覆われているフオーゼは無事なんだ」

フオーゼ「それにしてもヤバエ！堅吾あの狼も倒してくる！」

堅吾「まで如月！」

みゆき視点

みゆき「バッドエンドって？」

キャンデイ「悪い未来のことクル!!?」

みゆき「なんなのこれ？」

サラリーマン「もう、おしまいだ」

学生「頑張っても無駄だ」

キャンデイ「大変クル!!?みんなからバッドエナジーが出てくるクル！」

ウルフルン「ウルツフフフ人間達が発したバッドエナジーが悪の皇帝ピエロ様を蘇らして行くのだ!!?」

ウルフルン「ウルッフッフ」

キャンデイ「やめるクル!!？」

みゆき「ちよつとキャンデイ！」

ウルフルン「お前もこの世界に来てたのか」

キャンデイ「世界をバッドエンドにしちやダメクル!!？」

みゆき「なにそれ? どういうこと？」

ウルフルン「ウルッフッフ未来は全てバッドエンドになる。頑張っても無駄だ」

キャンデイ「違うクル! 無駄なんて絶対ないクル! 頑張ったらきつとハッピーになれるクル!」

ウルフルン「けっほざいてろ」

キャンデイ「くっクル」

みゆき「キャ キャンデイのいう通りだよ! 私も今日自己紹介緊張したけど頑張ったからクラスのみんなが助けてくれてあげずにできた! どんなことも絶対頑張り抜くの! そうすれば絶対ハッピーになれるんだから!!？」

ウルフルン「なんだお前? グダグダ言っつてねえでさつさとそいつをこつちによこせ食ってやる!」

キャンデイ「クルウウ!!？」

みゆき「私決めた！」

ウルフルン「あーん☒お前俺様が怖くねえのか？」

みゆき「怖いに決まってるでしょ!!？」

ウルフルン「じゃあなんでそいつをかばうんだ？」

みゆき「わかんなくてもこんなちっちゃな子がいじめられてたら誰だって守ろうと思
うよ！」

ウルフルン「震えてんじやえか!!？だったらお前から食ってやるよ」

みゆき「いやああああ!!？」

キャンデイ「逃げるクルウウ!!？」

ウルフルン「逃すか！」

キャンデイ「キャンデイを置いて逃げるクル！」

みゆき「そんなの無理！でも怖い！」

ウルフルン「走れ走れ追いつくぞ」

キャンデイ「このままじゃちみも食べられちゃうクル」

みゆき「でも決めたんだもん！私頑張る！私キャンデイが言ったこと正しいと思うか
らあ！」

キャンデイ「クル？」

ウルフルン「テメエらのやること全部無駄なんだよ！」

みゆき「きやあ！」

キャンディ「クルウ！」

ウルフルン「ウルツフフさ！諦めてそいつをよこしな」

みゆき「諦めないよ！私頑張るって決めたことは最後までやるんだもん！」

ウルフルン「うっせえなだつたら仲良く」

みゆき「それが私のそれが私の」

ウルフルン「オネンネしなあ！！？」

みゆき「ハッピーなんだから！！？」

ピカーン

ウルフルン「なんだ☒」

みゆき「なんなのこれ？」

キャンディ「もしかしてちみが」

スマイルパクト

みゆき「何これ？」

キャンディ「スマイルパクトクル！！？ちみは伝説の戦士プリキュアなんだクル！」

みゆき「何それ？」

キャンデー「キュアデコルをスマイルパクトにセットしてプリキュアスマイルチャージって叫ぶクル！」

みゆき「なんだかよくわからないけど。やってみる！」

レディ？

みゆき「プリキュアスマイルチャージ!!？」

ゴーゴーゴーレッツゴーハッピー

ハッピー「キラキラ輝く未来の光 キュアハッピー！」

キャンデー「プリキュア見つけたクル!!？」

ハッピー「なっなんなのこれ☒かつ可愛い〜!!？」

ウルフルン「なんだあいつは、」

キャンデー「落ち着くクル！今ちみは伝説の戦士プリキュアになったクル！」

ハッピー「伝説の戦士プリキュア？」

キャンデー「そうクル！」

ハッピー「戦士って事はまさかあの狼さんと？」

キャンデー「戦うクル！」

ハッピー「えええええ!!？無理無理無理怖いもん！」

キャンデー「えええええ!!？プリキュアなのにい!!？」

ハッピー「プリキュアってなんなの？」

キャンディ「伝説の戦士クル」

ウルフルン「なんだかしらねえが返り討ちにしてやるぜ」

ハッピー「うええきたああ！あつそうだ狼といえば」

ウルフルン「なんだ？」

ハッピー「三匹の子豚じゃ狼さんはレンガの家を吹き飛ばせなくってハッピーエンド

よ!!？」ビシ！

キャンディ「なるほどクル！」

ウルフルン「ウルッフッフ馬鹿め俺様はこんなこともできんだよ！いでよあかん

べえ」

ハッピー「えっ？なにになに？」

キャンディ「逃げるクルウ！」

レンガアカンベエ「アカンベエ」

ハッピー「レンガのお化けく！」

ウルフルン「こいつはアカンベエピエー口様の力でキュアデコルをバッドエンドにし

て生み出した怪物だ」

黒木視点

森下「狼のいるところにエネトロン異常消費反応です！」

黒木「何!!？」

ウサダ「どうしよおく!!？ヨーコ達は戦意喪失しちやつてるしくもうダメだく!!？」

黒木「いやまてあれは？」

みゆき視点

ウルフルン「いつけーアカンベエ!!？」

レンガアカンベエ「アカンベエ！」

ハッピー「いやああああ!!？」

ウルフルン「何！」

ハッピー「あれ？何これなんでこんなに飛んでるの!!？」

キャンディ「ハッピーすごいクル！」

ウルフルン「くそ！アカンベエ！」

ハッピー「ちよつとキャンディ！これどうやって降りるのよ！」

キャンディ「アカンベエくるクル!!？」

レンガアカンベエ「アカンベエ！」

ハッピー「いやああああ来ないで！」ドン

ウルフルン「何!!？」

ハッピー「何今の？スーパーパワー」

キャンディ「プリキュアは世界を守る超戦士クル！」

ハッピー「わかったこれテレビのスーパーヒーローね」

キャンディ「ええええええ!!？そんなじゃないクル!!？」

ハッピー「で次は？」

ハッピー「やっぱ怖いよー！」

キャンディ「逃げちやダメクル戦うクル!!？」

ウルフルン「なんだあいつらいけアカンベエ!!？」

レンガアカンベエ「アカンベエ!!？」

ウルフルン視点

ウルフルン「くそっなんなんだよあいつは、急に現れて!!？俺たちの邪魔をしやが
て」

エンター「それはこっちのセリフです」ギューーン

ウルフルン「!!？」

ウルフルン「誰だテメエ？テメエもプリキュアの仲間か？」

エンター「プリキュア？あの超人的な方のことですか？残念ながら違います私はエンター。我がマジステイメサイヤを転送するには大量のエネトロンが必要ですね。あ

なたのその本の中にあるものを提供してくればありがたいのですが」

ウルフルン「エネトロン？なんだそりや？これはバッドエナジーって言つて悪の皇帝
ピーエー口様を蘇らせるのにしたようなエネルギーだ。テメエなんかにやるかよ」

エンター「それは残念です。なら力づくでも」

ウルフルン「やってみろよ」

弦太郎視点

フオーゼ「ウオオオオオつてなんだお前!!？」

シヨベルバグラス「お前にいう意味はない死ね！」

フオーゼ「なんだかワカンねえけど取り上げず売られた喧嘩は買うぜ！」

シヨベルバグラス「おらつて」ブン

フオーゼ「ほっおつと」ヒユウ

フオーゼ「おらっ！」ブン

シヨベルバグラス「うわあ」

フオーゼ「よっしやトドメだ」

カチ

ロケツトオン

カチ

ドリルオン

ロケットドリルリミットブレイク

フォーゼ「ライダーロケットドリルキック!!？」

シヨベルバグラス「ウワアああああ」

ドカン!!？」

フォーゼ「よしそうだあの狼野郎のところにいかねえと」

みゆき視点

キャンデイ「ハッピーシャワーで浄化するクル！」

ハッピー「何それ☒」

キャンデイ「プリキュアの癒しの力クル！」

ハッピー「カッコいいわかったやってみる！覚悟しなさい！」

レンガアカンベエ「アカンベエ？」

ハッピー「ハッピーハッピーハッピーシャワー」

ハッピー「あれ？ちよつとどうナムルのよ！ハッピーシャワーハッピーシャワーハッ

ピーシャワー！」

レンガアカンベエ「アカンベエ！」

ハッピー「ひっ！いやああああ!!？何も出ないじゃない！」

キャンデイ「気合いが足りないクル！」

ハッピー「嘘だ！私超やる気だったもんだから今超恥ずかしいもん！」

レンガアカンベエ「アカンベエ!!？」

ハッピー「ダメダメハッピー逃げてばつかじやハッピーも逃げちゃうそれに。悪い狼さんなんか絶対負けたくない!!？」

キャンデイ「スマイルパクトクル。スマイルパクトに気合を込めるクル!!？」

ハッピー「よーし！気合いだ！気合いだ！気合いだ！はっ力が吸い込まれていく！」

キャンデイ「休まずに力を込めるクル！」

ハッピー「気合いだ気合いだ気合いだ気合いだああああ!!？」

キャンデイ「今クル！」

ハッピー「プリキュアハッピーシャワー!!？」

レンガアカンベエ「アカンベエ」シユワア

ハッピー「なにこれ？ものすっごい疲れた」

キャンデイ「ハッピーシャワーはとてもパワーを使うクル」

ハッピー「先に言つてよく怖かった!!？」

ヒュ!!？」

ハッピー「なにこれ？」

キャンディ「キュアデコルクル!!？」

ハッピー「そういえばあの狼さんは？」

エンター視点

ウルフルン「！」

エンター「なかなかやりますねしかしもう終わりです。さつさとエネトロンを渡してもらいましょうか」

ウルフルン「くそ！プリキュアといいお前といい一体なんなんだ!!？」シユン！

エンター「？消えた？なるほど彼らも瞬間移動の能力があるのですか。しかしゴーバスターズといい彼らといいプリキュアといい我々の障害は増えていくばかりですネ」シユン！

ヒロム視点

ヒロム「俺は一体？」

ニツク「ヒロム！目が覚めたのか？」

ヒロム「司令官メタロイドは一体！」

黒木「謎の物に削除された一応驚異は去ったというべきか？しかしバグラス以外にもう一つの脅威がある」

ヒロム「あの狼のことですネ」

黒木「あいつの圧するエネルギーにはエネトロンを吸い取る能力がある。見つけ次第即刻シャットダウンするのが最善だろ」

ゴバスターズED

弦太郎視点

フォーゼ「オーーーーーーイ!!?」

ハッピー「なんかこつちに来てない?」

キャンデイ「あれなにくるっ?」

フォーゼ「なああんたこの辺に狼見なかったか?」

ハッピー「狼さんならどっかいつちやつたけど」

フォーゼ「くそっ遅かったか!」

堅吾「如月奴はこの辺にはいない戻ってこい!」

フォーゼ「たくしようがねえな!あつサンキューな!教えてくれてじゃーなー」

ハッピー「なんだったんだろう?」

みゆき「よかつた街の人たちにハッピーが戻つて。ところで色々説明してほしんだけど」

キャンデイ「プリキュアになつてキュアデコルを集めるクル!そしてキャンデイの世界を救つてほしいクル!!?」

みゆき「えええええ!!?全然わかんないけど面白そう!!?」
キャンディ「ほんとクル?」

ハッピー「なんだろう。とびつきりハッピーなことが始まつちやたかも?」
スマイルプリキュアED

次回宇宙熱血の約束